

南丹市子育て発達支援センター運営委員会議事録

令和8年度第1回

(令和8年5月22日)

令和8年度第1回南丹市子育て発達支援センター運営委員会議事録

1. 日 時 令和8年5月22日(金)
開 会 午後2時00分 閉 会 午後3時00分
2. 場 所 南丹市役所 2号庁舎 1階会議室
3. 協議事項 別紙次第のとおり
4. 出席委員 村上委員長 白樫副委員長 足立委員 田邊委員
曾利委員 鋒山委員 塩貝委員 (八田委員代理) 岩嵜
5. 事務局 福祉保健部 川勝部長
社会福祉課 長野課長
社会福祉課 中西参事
社会福祉課 仲田課長補佐
社会福祉課 林主任
つくし園 大平施設長
つくし園 前田課長
6. 傍聴人 0名

1. 開会あいさつ 委員長

私たちは、このセンターのサポート役をする、運営において大切な役をいただいているので、今日はこの会議で、何よりも子どもさんの幸せのために、忌憚のないご意見をいただけたらと思っている。

2. 報告

- ・ 令和7年度発達支援相談事業実績報告

事務局より資料を基に報告。

- ・ 令和7年度児童発達支援事業実績報告

事務局より資料を基に報告。

- ・ 実績報告について質疑応答

A 委員：子どもがつくし園に通うようになってから約2年経ち、本当に大きく成長していると感じている。つくし園以外にも、保育園の園巡回相談など、本当に色々な活動をされていることを知ることができ、私自身とても勉強になった。

B 委員：つくし園やセンターの皆さまには、いつもお世話になっていて、近い立場で見てくださっている。園巡回や発達相談で、子どもたちが困っていることについて、どうしたら良いか一緒に考えていただき、強い味方になってくださっている。

議長：ありがとうございました。他にご質問、ご意見はありませんか。

⇒質疑なし

3. 議事事項

- ・ 令和8年度発達支援相談事業計画について

事務局より資料を基に説明。

- ・ 令和8年度児童発達支援事業計画について

事務局より資料を基に説明。

- ・ 事業計画についての質疑応答

C 委員：就学前の療育から学齢期以降の様子を見させていただくと、やはり早期からの支援というのは、非常に適応、力をつけて就学されるということを実感する。一時だけでなく、お出会いされた後も相談ができるシステムがあると思ったので、積極的に活用されて学齢期というものを就学前から大切に関わっていけたら、本当に子どもさんにとって幸せなことだなと考える。

D 委員：つくし園の方に新規の事業を紹介いただいて、子どもたちが安全に過

ごせるようにという形で、私たちも日々検討しながらやらせてもらっている。

議長：発達支援相談事業及び児童発達支援相談事業実績報告及び事業計画について、承諾いただける方は挙手願います。

⇒全員挙手

承認されましたので、これで議事を終了します。

4. 閉会のあいさつ 副委員長

保園小連携の交流会で情報共有をさせていただいているが、入学後の様子はどうかな、入学前の様子はどうかなというところで、本当に色々な視点で、園の先生方以外にも、このようなサポートをしてきましたよ、といただく情報というのは本当に入学後の子どもたちの支援の力になっている。

ただそれを十分生かし、子どもの発達状況に応じて支援ができていくかというのは、小学校6年間の大きな課題であると思うので、また、それぞれの学校に行かれた際にお気づきの点があれば、ご指導いただきたい。

私個人としても、我が子が発達支援センターと、つくし園でお世話になり、本当にいい顔をして子どもが帰ってくるという経験をさせていただいている。常に感じているのが、認めてもらえる、というところ。違うよ、という言葉かけではなくて、そうなんだ、こういうことなんだねって受け入れながら、次のステップを一緒に考えてくださる、そういう関わりを持ってくださっているなと感じている。

また、たくさん不安を持って関わられているお子さんなり保護者の方がおられると思うので、その不安を少しでもプラスに変えて、就学に向けて、一緒にがんばっていきましょうという連携が取れたらと思う。